



K 中 通 信

学校だより 12号
平成30年2月19日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『心豊かにたくましく生きる生徒の育成をめざします』

- 学ぶことの楽しさを知り、創造的に考える力を育てます（知）
- 自他の生命を尊重し、礼儀と思いやりをもって行動する力を育てます（徳・体）
- 多様な文化を理解し、地域や社会に積極的にいかかわり貢献する力を育てます（公・開）



沈丁花 いまだには咲かぬ 葉がくれの
くれなる蕾（つぼみ）匂ひこぼるる

～若山牧水～

校長 星野 久美子

2月も後半となり寒さも緩んできました。3年生の中学校生活は20日を切り、1・2年生も進級を控えた学年のまとめの時期となりました。

「いまだには咲かぬ」紅のつぼみも、温かな陽射しを受けてやがては花開きます。中学校生活或いはこの1年間をしっかりと振り返ることで、次のステップへの成果に繋げてもらいたいものです。

2月9日より平昌オリンピック冬季競技大会が開催され、連日競技の様子が報道されています。

日本選手の健闘や活躍は目覚ましく、特にフィギュアスケート男子シングルやスピードスケート女子の記憶は新しいことと思います。私は様々な競技の中で、カーリングという競技に興味を持ちました。各チームが交互に円形の石（ストーン）を投げ、氷上約40m先の的（ハウス）の中心近くに残ったストーンの数で得点を競いますが、先天的な体力よりも、練習量に裏打ちされた正確性や、予測や経験を元に相手の行動を先読みしたり、実際のストーンの動きから戦略を即座に組み立て直す能力が必要とされます。視聴した日本女子の試合では、競技中の選手たちの会話がそのまま放送され、「どうだい」「ウーン」「やってみよー」「そだねー」などというやりとりにとっても和みました。また、戦略を決定するとき「おもしろそう」という判断があったり、試合中に底抜けに明るい笑顔を見せてくれたりと、楽しみながら前向きに競技に取り組んでいる様子が大変印象的でした。このチーム、ロコ・ソラーレ北見（LS北見）は、「しっかり他者に興味を持って何でも言い合えるグループ」を作りたいという願いから作られたそうですが、困難な場面をみんなが意見を出し、それをまとめて「やってみよー」「そだねー」で乗り越えていく様子を見たり、ポジティブな精神力、しなやかな思考、そして、チームの強い絆を感じる時、まさにその願いは達成されたと思います。

刻一刻と変化する情報を共有する中で、最適な戦略を選び、仲間を励まし、困難な状況を打破していく様子は、現代社会が求める「主体的・対話的」な態度を思い起こさせます。オリンピック冬季大会は25日に閉幕しますが、3月9日からはパラリンピック冬季大会が始まります。しっかり他者に興味をもつことは、世界とのつながりの第一歩であり、自分の内面を豊かにしてくれます。多くの競技や選手たちのドラマに触れ、感動したり自分なりの視点をもって学ぶチャンスとして受け止めてください。

第56回 横浜市立軽井沢中学校 卒業証書授与式について

3月9日（金）、第56回横浜市立軽井沢中学校 卒業証書授与式が行われます。

今年より3年生の門出を祝うために吹奏楽部が入退場等で演奏を行います。そのため、保護者席の配置が昨年度と一部異なりますのでよろしくお願い申し上げます。